

2022年度 日本工学院専門学校											
音響芸術科											
実習・演習 1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	180	単位	6
担当教員	丸山浩二・寺村啓吾・丸山由美 葉輪直子・坂下冬樹・松本蓮・小山慶			実務 経験	有	職種	エンジニア				
担当教員紹介											
<p>業界での実務経験者のみで構成されており、現在もエンジニアとして活躍している。各担当講師は業界に精通している為、現場で生きる技術・知識を授業に取り入れながら講義を展開している。講師歴10年以上の講師も多数在籍。</p>											
授業概要											
<p>この科目を受講する学生は、音響職の様々な分野（音楽・テレビ・ラジオ・PA）の基礎技術を学び、これらの仕事を理解し将来自分の進むべき方向性を見極めることを目的とする。また、将来自分の専門分野の領域を超えた仕事や、他分野との連携で仕事にも対応できるような人材の育成を目指す。更に音響業界必須の礼儀作法については重点項目とし、始業および就業の挨拶はもとより身だしなみや普段の言葉づかいなどは厳しく教育する。</p>											
到達目標											
<p>この科目では、まずは挨拶が出来るようになること、メモを取る癖を身に付けることを必須とし、その上で音響業界に共通する基本的な知識・技術を身に付けること、スタジオと言う場所の構造や運用ルールを身に付けることを目標とする。また、スタジオワークにおいてはグループでの行動が主となるため、コミュニケーション能力はもとより自分で考えて行動できるような人材づくりを目指す。</p>											
授業方法											
<p>この授業は、他の講義科目と連携することにより、講義部分をできるだけ簡略化し、主に機器の操作を学ぶ。スタジオ機器の基本的運用法を身に付けられるよう全員機材の操作を行うようにし、複雑な操作となる場合には反復的に学習する機会を持つ。またオンデマンドでの講義動画も並行して作成していくことで、学生が復習しやすい体制を整える。</p>											
成績評価方法											
成果発表	50%	実技試験をもって評価をする（グレード試験）									
平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
<p>この授業では、挨拶をはじめとする学生間・教員と学生のコミュニケーションが最も重要となる。グループで仕事を進めることにおいて、特に支障となる遅刻・欠席については厳しく指導し、授業時数の4分の3以上出席しない者については試験を受験できない。社会への移行を前提とした受講マナー、服装、言葉遣いで授業に参加することを求める。</p>											
教科書教材											
授業時に適宜資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	Recマイクروفオン実習1：マイクロホンの種類と特性、構造についての理解。 指向性による音の聞き比べとヘッドアンプの調整法の習得										
第2回	Recボイカル録音実習：マイクセレクト～録音 傾向の違うマイクを準備し、ボイカルに合ったマイクの選定を行う。										
第3回	Recバンド録音実習：マイクの選定～Mix ゲストバンドをお呼びし、実際のレコーディングからMixまでを行う。										
第4回	MA作品の制作実習1：台詞（Na）・効果音の収録方法、収録に於けるスタジオシステムの理解。映像の取り込み方の習得										
第5回	MA作品の制作実習2：収録した音の整音技法を習得										

2022年度 日本工学院専門学校	
音響芸術科	
実習・演習 1	
第6回	MA作品の制作実習3：SE・音楽の付け方と編集、ミキシング法の理解。放送基準レベルの理解。
第7回	ラジオ番組の制作実習1：本番の流れを知る 役割理解、機材の使用法、ディレクション法の習得
第8回	ラジオ番組の制作実習2：中継放送実践 スタジオ外でのロケを想定した中継放送の技法を理解する。
第9回	ラジオ番組の制作実習3：台本の作り方の習得、入り中継を含む10分番組制作実践
第10回	PAシステム1：小型のミキサーでのシステム構築（マイク、CDからの音出し）
第11回	PAシステム2：パワードスピーカーとパッシブスピーカーの原理を理解する。スピーカー設置実習。
第12回	PAシステム3：大型のミキサーでのシステム構築（AUX回線を使用してのリバープ付加）
第13回	半田付け：キャノンコネクタのハンダ付け方法の習得
第14回	グレード試験対策：自分の選択したコース（2コース）のグレード試験の合格に向けての予習授業
第15回	グレード試験：自分の選択したコース（2コース）のグレード試験の実施